

校長室の窓

主役は君だ！

— 学習発表会 近づく！ —

立冬が過ぎ、朝夕の空気がぐっと冷たく感じられるようになりました。11月に入った現在、学習発表会が目前に迫り、正則の子も職員も最後の仕上げに全力で取り組んでいます。

そもそも、学年の演技内容を決めたのは9月、運動会の時期です。台本を決め、配役を決めて、具体的な練習は運動会が過ぎてからになりました。平行して、低学年、高学年の合唱と、演技中の合唱曲の練習も始まりました。4月から毎朝、朝の会で合唱を行ってききましたが、発表に向けてますます元気な声が響いています。

10月に入ると、社会見学あり、農業体験あり、就学時健診あり、サッカーバスケット競技会ありで、先生方も大わらわです。その間に、大道具小道具の制作やBGMの選定なども着々と進めました。また、ご家庭にも、衣装についてのご協力をお願いしました。



10月下旬から、体育館を各学年に割り振っての舞台稽古が始まりました。1日1回、体育館を使っただけの練習が、全部で5回。はじめは、せりふ一つを覚えるのも大変でしたが、だんだんと演技がみがかれ、立ち位置や表情、身体表現にも工夫が見られるようになってきました。そして、7日の校内発表会。本番と同じように、衣装を身につけ、出入りの仕方も確認しました。

本番と同じように、たくさんの観客を前に演じました。本番と同じように、終わったあとにたくさんの拍手をもらいました。1、2年生にとっては初めての体験です。5、6年生にとっては、これが最後になる発表会です。ひとりひとりを輝かせたい。そんな願いを込めて、担任の先生方はたった一つのせりふを大切に、正則の子たちをみがきました。

発表会当日、その言葉を発するその一瞬、その子は主役になります。ワニもカメも、海賊もおじいさんも、ロボットも宇宙人も、犬もブタも、豆腐屋も小僧も、指揮者もネズミも、みんなが主役です。どうぞ、きらきら光る正則の子たちをごゆっくりご覧ください。

